



【特集】ホテルルートイン建設現場レポート

隣接民家へ きめ細かい注意を払う ホテルルートイン藤枝

JR藤枝駅北500メートルに建設中の「ホテルルートイン藤枝」は、地上10階建てのうち、現在8階までの型枠工事が進行中です。来年2月に完成し、3月にはオープン予定です。中村建設が同時期に手がけるホテルルートイン建設のうち、一番背の高い建物です。

現場責任者の建築本部・小粥主任から、隣接民家と工事現場との距離が1メートル弱という状況があるため、特に騒音、落下物など、周囲に迷惑のからない工事を心がけています。また、現場の状況の説明を受けました。また、10階建てプラス屋上看板で、12階建て分の高層建築となるために、現場工事では墜落事故にも十分注意



近隣家屋へ十分な注意が払われている工事現場

を払い、安全な作業が行われています。小粥主任は「今後は3月のオープンに向け、さらに事故防止・安全対策を強化し、近隣の方々にも喜んでいただけるような現場を目指していきたいです。」と話してくれました。



ルートイン藤枝現場担当責任者/鎌田洋輔・小粥正浩

車両の出入りに注意喚起 ホテルルートイン 浜松西インター

浜松西インターから車で3分ほどの土地にある「ホテルルートイン浜松西インター」の建設工事現場では、来年3月末完成に向けて順調に工事が進んでいます。他の2現場と比べて敷地面積が広く、建物自体も横に長い作りになっています。駐車場も近隣地を含め台数を確保中とのこと、ビジネスだけでなく館山寺方面への観光利用客も見込んでいます。工事での注意点は、幹線道路に面しているため、特に工事車両の出入りに事故のないようにすること。また、現場近隣の畑の持ち主の方に迷惑がからないよう注意をしているとのこと。近隣の住民の方の理解が

なければ、スムーズな進行ができないことがわかります。実は取材の前日に外壁タイルの色変更の要望があり、業者との打ち合わせが真剣に行われていました。



ホテルルートイン浜松西インター/中村公亮・鶴木賢一

地盤対策工事で 安全安心なホテルを ホテルルートイン湖西

「ホテルルートイン湖西」建設工事の特長は、地盤対策のための基礎工事が行われていることです。地震対策のため、より建物の強度を高めるこの工法は、直径1.8メートルの杭を地下20メートルまで打ち込むもので、「場所打ち杭工法」と呼ばれています。「ホテルルートイン湖西」では、1033平方メートルの中に29本の杭が打ち込まれました。安全で安心なホテルづくりを目指し設計・施工されています。



また、このホテルは和風レストランが併設されるのも特長となっています。場所は湖西市役所の正面。全国にあるホテルルートインは、ホテル内に大浴場があることで有名です。この湖西もビジネスユースだけでなく、観光向けにも考えられた施設となる予定です。このように同時期に3件のホテル新築建設が進んでいます。それぞれの現場が

良い意味で競い合い、より高い建設水準を目指しています。



ホテルルートイン湖西/落合照美・平野貴久

中村建設とルートイングループとのおつきあいは、2000年建設の「ホテルルートイン常滑」から始まっています。今回の新築工事に関しては、次のようなコメントをいただきました。

■建設工事について中村建設に期待すること
耐震強度偽装の問題もありましたが、特に静岡地区は東海沖地震等大規模な地震の予兆が報道されています。設計通り耐震強度以上の建物を作ってください。また、地元のみならずにも愛されるすてきな建物であって欲しいと願っています。

◀ホテルルートイン常滑 2000年完成

▼ホテルルートイン豊川 2002年完成

